



# にじのはし幼稚園 園だより



令和7年9月号  
港区立にじのはし幼稚園  
園長 飯田美弥

それぞれの場所で過ごした夏を終えて、元気な子どもたちの声が幼稚園中に響く日々が戻ってきます。夏季休業中はいかがお過ごしでしたでしょうか。今年の夏も猛暑日が続き、「暑いですね」が挨拶代わりになるような日々が続く一方で、局地的な大雨などの災害に合われた地域もありました。ご親戚やお知り合いの方で被害に合われた方もいるかもしれません。心よりお見舞い申し上げます。本園でも、7月30日の津波警報の時には、預かり保育に来ていた子どもたちと屋上付近に避難しました。普段から避難訓練をしているからか、落ち着いて避難することができました。自然災害はいつ起こるかわかりません。それだけに、何もない時から備えることが大切だと痛感した日になりました。

さて、私はこの夏、遅ればせながら、話題の映画『国宝』を観に行きました。歌舞伎がテーマのお話でしたが、日本舞踊をしていた親戚とその映画の話をした際、「何十年も踊っている自分たちからみても、1年半ほどの練習であれだけの演目を演じられるのはすごい」と驚いていました。もちろん、俳優さん達一人ひとりの努力は計り知れないものがあり、それだけでも圧倒されたのですが、私が映画の中で印象に残ったのは、まだ若い主人公とそのライバルが、暇があると踊りのお稽古をしているところでした。誰かに言われてやるのではなく、踊りがただただやりたくて、お稽古場だけでなく、外でもどこでも動きを合わせている場面に、ぐっとくるものがありました。それは、幼稚園での子どもたちの姿を重ねたからだと思います。子どもたちは、遊びの中で自分のやりたいことに向かっているとき、時間を忘れて取り組むことがあります。その時間を保障できる幼稚園生活をつくる責任と、つくってくださっている保護者の方への有難さを感じています。

本園では、幼児の姿から経験してほしい環境を整え、幼児の主体性を大切にした保育をしています。幼児が夢中になって遊び、一人ひとりの興味が広がり、よく見たり不思議だなと感じたりすることや、試行錯誤や探求、自己調整や他者との協働など、直接体験を通して豊かに総合的に学ぶことを重視しています。その積み重ねの中で、幼児一人ひとりのきらりと光る豊かな感性と創造力を育んでいきます。

2学期も本園へのご協力を、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

## 幼稚園経営計画 今年度の主な取り組みからの抜粋

- 幼児の自発的な活動としての遊びを十分に確保し、幼児期にふさわしい生活を通して、生きる力の基礎を育みます。
  - ・遊びに没頭し、心動かされる多様な経験の中で、幼児が様々に感じ、気づき、考えたことを表現する経験や、試行錯誤・振り返りの経験を積み重ね、知的好奇心を高めながら、豊かな感性と創造力を育み、思考力の芽生えを培います。
- 教材や行事を工夫し、心動く体験へとつなげ、遊びや生活を通じた豊かな学びを保障します。
  - ・幼児が主体的に場やもの、人に関わって遊ぶ環境の構成や、幼児の興味や関心、発達や時季を踏まえた教材を工夫します。体験の多様性と関連性を踏まえた環境を意識し、学びが深まる豊かな体験を保障します。